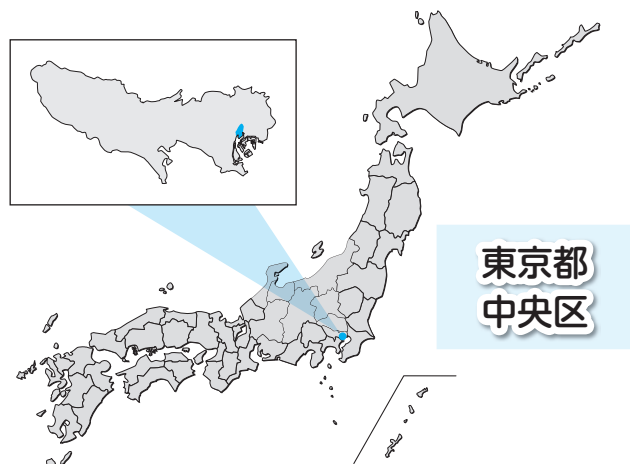


私のふるさと



東作
若月 正孝 さん



東京都
中央区

私のふるさととは「お江戸日本橋」です。東京をふるさとと呼ぶのはちょっと違和感がありますが、生まれも育ちも東京なのでふるさととは東京です。

今はタワーマンションや大手スーパーなどが立ち並び、再開発でおしゃれな感じの街になってしまいましたが、私の生まれた頃の日本橋付近には都電が走り、銭湯、個人経営の八百屋や魚屋などがたくさんありました。今とは何か違う下町情緒、空気感、活気があり、あの頃は私には街が輝いて見えました。

今では子どもの頃遊んだ公園やお店、路地裏は無く、母校の小・中学校は、校舎の建て替えや統廃合で学校名が変わるなど、街はすっかり変わってしまい、私の思い出の場所(ふるさと)はほとんどなくなってしまいました。

ふるさとが無くなり悲しい思いをしている中「地域おこし協力隊」の仕事に出会い、須賀川に去年6月に赴任してきました。きれいで大きな空や川がある自然がいっぱいの須賀川で、ふるさとを発見できたらなと思っています。

私は須賀川牡丹園でお世話になっています。牡丹園で私を見掛けたら、須賀川の事などいろいろと教えてください。須賀川の皆さん、新参者ですが、どうぞよろしくお願いします。



サークルとわたし



フレッシュコーラス・花束

代 表 者 常松 陽子
会 員 15人
発 足 年 月 平成25年2月
連 絡 先 ☎(62)5664
活 動 日 毎月第2・4火曜日
午後7時～9時
活 動 場 所 稲田公民館

私たち合唱部の名前は、フレッシュコーラス・花束です。由来は「素敵なコーラスの花束をあなたに届けたい」というところからきています。発足から7年になり、現在の会員は15人です。

歌の好きな会員が集まり、月2回の練習で、先生には伴奏、指導などをしていただいています。歌う前にストレッチ・早口言葉・発声の練習をして、いよいよ歌い始めます。童謡から唱歌、ポピュラーなど幅広く歌っています。会員は50歳以上で、みんな元気で練習の日を楽しみにしており、声を出すことで健康にもつながっています。

昨年は11月の稲田フェスティバルに参加し、今年1月には稲田幼稚園でミニコンサートを行いました。ミニコンサートでは、園児からのリクエスト曲を歌い、私たちも園児からたくさんの元気をもらいました。これからは、施設の慰問なども考えています。

歌を歌うことが好きな方、一度見学にいらしてください。そして一緒に歌いませんか？

tette 情報

tetteでは、感染症対策を取りながら、順次講座を再開しています。詳しくは、tetteホームページでご確認ください。参加するときは、感染防止にご協力をお願いします。



tetteホームページ



TETTE.SUKAGAWA
tetteInstagram

■ tetteスクールなど

市民交流センター☎(73)4407

tetteライブラリーシアター
「がんばれスイミー」

8月8日(土) 午前10時～11時
※先着50人



tetteスクール 「ちょっぴり怖いすかがわ巡り」

8月22日(土) 午後6時～7時30分 ※事前申込

tetteシネマ 「A Film About Coffee」

8月29日(土) 午後6時(開場:午後5時30分)
※tetteオフィス(1階)で事前にチケットをお求めください(定員50人)。

■ tette動画を配信中

事業名・内容	おすすめ動画
tetteスクールオンライン エクササイズや料理などを楽しく学べる講座	はじめてさんでも大丈夫 リラックスヨガ
おうちでできるtetteスクールファミリー 家族で楽しめる運動や実験、お菓子作りなど	おやこde家トレ
こどもセンターからのおくりもの 人形劇や工作、昔の遊び、体操など	つくってあそぼう手作り花火

■ こどもセンターだより

こどもセンター☎(76)6687

スターペアレンティング

8月19日(水) 午前10時30分～11時 ※事前申込

子育て相談会

8月27日(木) 午前10時30分～11時30分 ※先着3組

■ 図書館だより

中央図書館☎(75)3309

こども読み聞かせ会(読み聞かせの会ポケット)

8月22日(土) 午後2時 ※自由参加(人数制限あり)

※8月のおひざにだっこのおはなし広場はお休みです。



おやこde家トレ

ふるさとの遺産

須賀川アルバム
- 昭和の記録写真から -

No.312

盆提灯づくり (昭和40年代前半)



お盆に欠かせない提灯の製作

博物館

☎(75)3239

江戸時代以降、提灯は、行列や儀式の際の照明や目印であると同時に、周りの注目を集め、行事を象徴する役目も担っていました。ろうそくが電球に変わっても、先祖への想いの象徴として、提灯は現代の生活に生きています。

写真は、8月のお盆を控えて提灯を作る様子です。天井につるした提灯は戒名と家紋を入れて完成した物のようですが、軒先には家紋の下書きを入れた作りかけの物が並んでいます。店内では、高さ1メートルほどある提灯に筆を入れていくところです。当時の提灯屋の軒数や売り上げなどのデータはありませんが、写真には「專業の提灯屋は2軒、荒物屋などの兼業が5軒、あわせて年産2500個という。盆提灯のほかに祭提灯、普通の提灯を作るがわずかである。」とメモが添えてありました。